【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和6年1月29日(2024.1.29)

【国際公開番号】WO2022/210626
【出願番号】特願2023-511323(P2023-511323)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｇ　4/30(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｇ　4/30　２０１Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和6年1月19日(2024.1.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
セラミックからなる積層された複数の誘電体層と、前記誘電体層間の複数の界面に沿ってそれぞれ配置された複数の内部電極と、を有する、積層体と、
前記積層体の外表面に設けられ、前記内部電極と電気的に接続された、複数の外部電極と、
を備え、
前記内部電極は、前記積層体の積層方向に関して交互に配置された複数の第１内部電極と複数の第２内部電極とを備え、
前記外部電極は、前記第１内部電極と電気的に接続された第１外部電極と、前記第２内部電極と電気的に接続された第２外部電極と、を備え、
前記第１内部電極を正極とし、前記第２内部電極を負極とするように、前記第１外部電極および前記第２外部電極間に印加される電圧の印加方向に基づく極性が定められており、
前記第１内部電極は、ＣｕおよびＳｎを含む第１金属組成を有し、
前記第２内部電極は、Ｃｕを含む第２金属組成を有し、
前記第２内部電極が有する前記第２金属組成は、Ｃｕを主成分とし、Ｃｕより標準電極電位が高いＡｕ、Ｐｔ、Ｉｒ、Ｐｄ、Ｏｓ、Ａｇ、ＲｈおよびＲｕから選ばれる少なくとも１種の金属元素を添加成分とする、
積層セラミックコンデンサ。
【請求項２】
前記第１内部電極が有する前記第１金属組成は、Ｃｕより標準電極電位が高い金属元素を含まない、請求項１に記載の積層セラミックコンデンサ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
上述した技術的課題を解決するため、この発明では、第１内部電極を正極とし、第２内部電極を負極とするように、第１外部電極および第２外部電極間に印加される電圧の印加方向に基づく極性が定められており、第１内部電極は、ＣｕおよびＳｎを含む第１金属組

成を有し、第２内部電極は、Ｃｕを含む第２金属組成を有し、第２内部電極が有する第２金属組成は、Ｃｕを主成分とし、Ｃｕより標準電極電位が高いＡｕ、Ｐｔ、Ｉｒ、Ｐｄ、Ｏｓ、Ａｇ、ＲｈおよびＲｕから選ばれる少なくとも１種の金属元素を添加成分とすることを特徴としている。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
積層セラミックコンデンサ１は、第１内部電極４および第２内部電極５の各々の金属組成に関して、以下のように選ばれることを第２の特徴としている。すなわち、正極となる第１内部電極４は、ＣｕおよびＳｎを含む第１金属組成を有し、負極となる第２内部電極５は、Ｃｕを含む第２金属組成を有する。そして、第２内部電極が有する第２金属組成は、Ｃｕを主成分とし、Ｃｕより標準電極電位が高いＡｕ、Ｐｔ、Ｉｒ、Ｐｄ、Ｏｓ、Ａｇ、ＲｈおよびＲｕから選ばれる少なくとも１種の金属元素を添加成分とする。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
前述したように、第２内部電極５が有する第２金属組成は、Ｃｕを主成分とし、Ｃｕより標準電極電位が高いＡｕ、Ｐｔ、Ｉｒ、Ｐｄ、Ｏｓ、Ａｇ、ＲｈおよびＲｕから選ばれる少なくとも１種の金属元素を添加成分とする。第２金属組成の標準電極電位を、Ｃｕ単独の場合に比べて、より高くすることができるからである。第２金属組成の添加成分となるＡｕ、Ｐｔ、Ｉｒ、Ｐｄ、Ｏｓ、Ａｇ、ＲｈおよびＲｕは貴金属である。